科目名称	栄養学	学年学期	単位数	時間数
		第１学年　後期	1	30
担当教員	植田　真知	授業に関わる実務経験	■　有　（　管理栄養士　　） □　無	

【1】 授業概要

栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用、ライフステージ別の適切な栄養管理、病態の理解と、栄養状態の的確な評価に基づく栄養管理について学習する。また日本人の栄養状態は生活環境やライフスタイルの変遷によって新たな問題が生じている現状を認識し栄養学の必要性を理解する。

【2】 学習目標

1. 栄養学の意義を理解できる。
2. ライフステージ別の栄養管理を理解できる。
3. 病態に応じた栄養状態の評価を理解できる。

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■　1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■　2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
■　3. 地域の特性を看護に生かす力
■　4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■　5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	第１章　人間栄養学と看護	講義
2	第２章　栄養素の種類とはたらき	講義
3	第３章　食物の消化　栄養素の吸収・代謝①	講義
4	第３章　食物の消化　栄養素の吸収・代謝②	講義
5	第４章　エネルギー代謝	講義
6	第５章　食事と食品	講義
7	第６章　栄養ケア・マネジメント	講義
8	第７章　栄養状態の評価・判定	講義
9	第８章　ライフステージと栄養①	講義
10	第８章　ライフステージと栄養②	講義
11	第９章　臨床栄養①	講義
12	第９章　臨床栄養②	講義
13	第９章　臨床栄養③	講義
14	第10章　健康づくりと食生活	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験、学習への取り組みで総合的に評価する。

【6】 教科書

小野　章：系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能３　栄養学（第13版）　医学書院　2022　（電子版）
日本糖尿病学会：糖尿病食事療法のための食品交換表　第７版　日本糖尿病協会・文光堂　2022

【7】 参考書

必要に応じてプリントを配布

【8】 受講生へのメッセージ

栄養学は看護にも必要な知識です。今後、患者に食事・栄養指導ができるよう、栄養学を学びましょう。